

高知市地域アクションプランの進捗状況等について

H23. 6. 30
高知市地域本部

1 地域アクションプランの実施状況（総括）

(1) 総評

(ア) 全体の進捗状況

- ・観光分野や農業分野を中心に、取り組みの効果が具体的に見え始めている。一方で、事業実施主体を取り巻く状況が大きく変化している取り組みや、成長戦略との調整が課題となっている取り組みなどがあったため、23年度の改定に併せてプランの整理を行った。(38項目→32項目)

(イ) 動きが活発化しているもの

- ・観光分野では、昨年度の龍馬博・龍馬伝の効果もあり、まち歩きや観光遊覧船が貴重な観光資源としてその存在感を増している。そうした中、観光遊覧船事業では、地域と連携した新たな企画商品づくりが行われるとともに、龍馬の生まれたまち歩き「土佐っ歩」では、新たなコースが設定されるなど、今後を見据えた動きが見られる。
- ・農業分野では、ショウガやユズ等の基幹品目について着実に振興が図られるとともに、新たな加工品の開発・販売の取り組みが進んでいる。また、春野地区では、地元の民間事業者と農業者との連携による農産物の付加価値向上の取り組みが本格化してきている。

(ウ) 進捗が遅れているもの等

- ・自立的な事業体制が確立されていないため、足踏み状態となっている取り組みが見られる。これらの取り組みについては、リーダーの育成とともに、外部活力の活用などの対応を考える必要がある。
- ・売上げなどが目標に達していない取り組みについては、課題を整理するとともに、産業振興アドバイザーを派遣するなど、対策を進める。

(2) 具体的な動き

① 地域の重点的な取組

重点的に取り組む施策	取組状況（課題、結果、成果等）
<p>地域の特色を活かした多様な農業の展開と加工への取組</p> <p>「No1 地域の基幹品目の振興」 〈基幹品目：キュウリ、ショウガ、メロン、トマト、イチゴ、ユズ、新高ナシ、ユリ、グロリオサ、水稻〉</p> <p>「No2 ショウガの安定供給と消費拡大」</p>	<p>[H21～22]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生産面では、高収量、高品質化等のための対策（生育調査、防除対策、栽培指導、品種選定の検討等）を実施。 <p>【H22 販売額】</p> <p>販売額はキュウリ 30.7 億円<前年比 101.1%>、ショウガ 23.4 億円(*)<前年比 98%>、メロン 4.2 億円<前年比 76.1%>、トマト 4.3 億円<前年比 103%>、イチゴ 1 億円<前年比 92%>、新高ナシ 3.3 億円(*)<前年比 84%>、ユリ 3.4 億円<前年比 93%>、グロリオサ 8.4 億円<前年比 91%>、水稻 12.5 億円(*)<前年比 88%> (*)は推計値</p> <ul style="list-style-type: none"> ・加工面では、下級品を利用したトマト・キュウリ・ショウガのジャム、ショウガのシロップを販売開始。新高ナシは、リキュール、シャーベット、ジャムの原料として出荷。 <p>[H23]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、高収量、高品質化等のための対策を実施 ・イチゴの消費拡大に向けて、産振ステップアップ事業の導入を検討中 ・新高梨の果実酒製造に向けて、濁酒製造技術講習会を受講。(針木梨組合) ・ショウガ予冷庫（JA高知市）の整備について国から強い農業づくり交付金の内報

<p>「No3 ユズを核とした中山間農業の活性化」</p>	<p>[H21～22]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・優良母樹の確保対策等を実施 ・国庫補助金及び県産業振興推進総合支援事業費補助金、市補助金の活用によりJA高知市ユズ搾汁施設を改修。 搾汁能力の向上 1.25 t (旧施設) → 5 t / 時間 搾汁率の向上 16.6% (旧施設) → 18.8% <u>処理量：目標 810t → 実績 H21：1,200t、H22：799t</u> ・施設整備を機に、ユズ果汁の大口需要者との継続的な取引が実現。 ・加工残渣については、処理先 3 社を確保し、スムーズに処理 (H22：448t) ・<u>22 年産ユズの販売額 (推計値) 1.6 億円</u> <p>[H23]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・優良母樹の確保対策等を引き続き実施 ・県版 HACCP 取得に向け取り組み強化 <p>【課題と今後の対応】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・<u>ユズの搾汁施設の衛生面での一層の信頼性の向上</u>
<p>「No4 中山間地域の暮らしを支える集落営農の推進」</p>	<p>[H21～22]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・集落営農組織の実態に即して、協業栽培、共同利用機械の導入、法人化に向けた取組等を支援 ・こうち型集落営農 2 集落でユズの苗木導入 ・鏡梅ノ木地区で新たな品目として、ソラマメ、加工用わさび、ミシマサイコ、大根を試験栽培 ・セツ澁では筍加工場の拡張、堆肥舎の整備等を実施 <p>[H23]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・セツ澁：法人化に向けた課題整理と今年度目標（法人化ビジョンの作成）確認 ・鏡梅ノ木：試験栽培の継続実施。鏡直販店組合への加入 ・その他の集落：集落の実態に即して、研修会や意向調査を実施 <p>【課題と今後の対応】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・<u>リーダーの育成と資質の向上</u> ⇒引き続き集落座談会や勉強会、先進地視察等を通してリーダーを育成
<p>「No5 四方竹のブランド化による中山間地域の振興」</p>	<p>[H21～22]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・四方竹の真空パック化の試験、鮮度保持実験。 ・県産業振興推進総合支援事業の活用により土佐山地区で品温対策（製氷機の整備）、二次加工品（おかず味噌）の開発等を実施。 ・<u>H22 販売実績 3,874 万円（土佐山 1,897 万円、セツ澁 1,977 万円）〈H19：3,360 万円〉</u> <p>[H23]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生態調査圃場の設置 ・中長期貯蔵試験、品質検査の継続実施 <p>【課題と今後の対応】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・<u>生産拡大に伴う販売単価の下落への対応</u> ⇒関西以東への販路の拡大とニーズに応じた商品開発。一次加工体制の整備

<p>「No6 鏡川源流域での有機・無農薬等 ECO農業と薬草の里づくり</p> <p>「No7 春野地区の農作物（トマト等）の付加価値向上」</p>	<p>[H21～22]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高知市有機市民農園の開設（50㎡×50区画） ・ホソバオケラの増殖栽培、ミシマサイコの試験栽培の実施。ミシマサイコについては一定の収穫（40Kg/19a）があり、中山間地域での有望品目となることを確認 ・鏡村直販店組合において生産履歴の記帳100%達成 ・（財）夢産地とさやま開発公社において、6名を雇用（ふるさと雇用再生特別基金事業を活用）し、有機農作物の生産拡大、農産加工品の開発・販売促進の強化に着手。 <p>[H23]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・（財）夢産地とさやま開発公社の一般財団化に向けた取り組みの中で、会計上の部門区分を整理 ・新たな加工場の整備に向けた検討の開始（公社） <p>[H22]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「目指せ 弥太郎 商人塾」への参加。 ・加工に適したトマト等（サンマルツァーノ）を試験栽培。 ・加工品3種類9アイテム（パスタソース、ジンジャーエール、ピクルス等）を商品化。 <p>[H23]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・産業振興推進総合支援事業費補助金（4/14 交付決定）を活用し、農産物加工施設の整備に着手（5/16 起工式、9月操業開始予定） ・「まるごと高知」でトマトサミットを開催し、高知県産トマトをPR ・加工用野菜の栽培技術指導及び生育調査を継続実施 ・マーケットイン型商品開発（改良）支援事業への参加予定 <p>【課題と今後の対応】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ <u>原材料となる農産物の安定生産と販路の確保</u> ⇒栽培面での継続的な技術支援、HACCP対応型の加工施設の整備、見本市、商談会への参加と取引先の関係強化
<p>「森の工場」などによる間伐の面的な拡大 「No10 民有林における間伐の推進」</p>	<p>[H21～22]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・H21：森の工場の1団地（921.36ha）新設（計2団地で1,174.59ha）。 ・H22 間伐実績 187ha うち森の工場 64.77ha（搬出間伐面積8.06ha、素材生産量1,987立方メートル） <p>[H23]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、森林施業に伴う集約化や作業道の開設を行いながら間伐を推進。 <p>【課題と今後の対応】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ <u>施業拡大に向けた人員体制</u> ⇒他事業者とのコラボレーション型事業の拡大に向けて、市有林などの実施可能な場所から作業を行い、実績を積んでいく。

<p>地域資源を活用した1.5次産業の振興 「No13 底曳網による漁獲物の利用及び消費の拡大」</p> <p>「No14 冷凍ドロメの販路拡大」</p>	<p>[H21～22]</p> <ul style="list-style-type: none">・御置瀬地区の漁業者等で「たるばあやって御置瀬ん会」を設立。・ねえやん御置瀬祭を開催し、魚のてんぷら等を試験販売。・ふるさとまつり（地域アクションプランブース）等で沖ウルメなどの加工品を試験販売。 <p>[H23]</p> <ul style="list-style-type: none">・水産加工業交流促進協議会に沖合底曳網漁家が参加し、水産加工業者や流通関係者と意見交換 <p>【課題と今後の対応】</p> <ul style="list-style-type: none">・ <u>事業スキームと実施体制の確立</u> ⇒実施組織の絞り込み、新たな加工品開発及び販路開拓 <p>[H21～22]</p> <ul style="list-style-type: none">・実証実行組織 春野冷凍ドロメ加工グループ「どろめっ娘」を設立・実証活動（春野さんさん黒潮市への出店）、試食品の提供（土佐漁村起業交流会）の実施・冷凍庫の整備、製造技術講習会の実施 <p>[H23]</p> <ul style="list-style-type: none">・大阪中央卸売市場関係者との産地交流会への参加・県外業者へのサンプル提供 <p>【課題と今後の対応】</p> <ul style="list-style-type: none">・ <u>加工・販売体制の確立</u> ⇒組織体制の見直し、実働メンバーの絞り込み
<p>中心市街地の活性化 「No20 中心商店街でのアンテナショッ プの運営」</p>	<p>[H21～22]</p> <ul style="list-style-type: none">・中心商店街活性化モデル事業を活用し、県産品アンテナショップ「てんこす」オープン。・県内の市町村から集めた約1,560点の商品を陳列・販売。（登録アイテム：約2,750点） →1年目の販売実績は、<u>ほぼ目標（244千円/日）とする水準で推移</u>・産業振興アドバイザーを派遣し、店舗の運営面での課題解決を支援。・商店街と一体となったイベントを開催。 <p>[H23]</p> <ul style="list-style-type: none">・2年目（2/19～6/30）販売実績は、目標292千円に対し、260千円（89%） <p>【課題と今後の対応】</p> <ul style="list-style-type: none">・ <u>店舗としての魅力度アップ、周辺の商店街へのアンテナショップ効果の波及、アンテナ機能の充実</u> ⇒事業者と県・市による事業運営に関する協議を定期的に行い、効果的な対応を図る

<p>機械・金属を中心とした「ものづくり企業」による地産外商の推進</p> <p>「No15 販路拡大支援の充実」</p> <p>「No16 土佐のものづくり企業による地産外商の推進」</p>	<p>[H21～22]</p> <p>(H21)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・こうち販路拡大チャレンジ事業：上半期5企業、下半期7企業を支援 ・見本市への県ブース設置：関西機械要素技術展、メッセナゴヤ2009、テクニカルショウヨコハマ2010 <p>(H22)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高知市販路拡大チャレンジ事業：上半期6企業、下半期の13企業を支援 <ul style="list-style-type: none"> →〈上半期6企業〉成約11件(5,620千円)、商談中42件 〈下半期13企業〉成約62件(64,708千円)、商談中81件 ・2010NEW環境展への参加：県内企業15社が出展 <ul style="list-style-type: none"> →成約34件(46,749千円)、試作依頼11件、見積依頼59件、商談中122件 ・土佐商談会2010の開催：県内企業46社、県外発注企業13社が参加 <ul style="list-style-type: none"> →成約109件(5,743千円)、見積依頼15件、商談中13件 ・土佐技術提案商談会の開催：県内企業25社、県外発注企業11社が参加 <ul style="list-style-type: none"> →成約3件(1,100千円)、見積依頼8件、商談中32件 ・第13回関西機械要素技術展への参加：県内企業12社が出展 <ul style="list-style-type: none"> →成約82件(39,237千円)、見積依頼46件、商談中57件 <p>[H23]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高知市販路拡大チャレンジ事業：上半期10企業 ・2011NEW環境展への参加：県内企業13社が出展
<p>魅力ある観光戦略の展開</p> <p>「No30 「龍馬伝」を契機とした観光の振興」</p>	<p>○龍馬の生まれたまち歩き～土佐っ歩～</p> <p>[H21～22]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「龍馬の生まれたまち記念館」を中心としたまちあるき「土佐っ歩」6コースが完成(H22.10) ・土佐観光ガイドボランティア協会による龍馬関連のまちあるきガイド<H22.1～12月累計> 18,415人(うち土佐っ歩は3,342人) <p>[H23]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4月から「土佐っ歩」6コースをリニューアル、特別コース2コースを新設。 ・H23.4～H23.6月の実績 土佐っ歩496人(対前年同比33.3%減)、まち歩き(土佐っ歩以外)494人(対前年同比92.7%減) <p>【課題と今後の対応】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・<u>まち歩きの更なる魅力向上と団体客の確保</u> <p>○高知市観光遊覧船</p> <p>[H21～22]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県産業振興推進総合支援事業費補助金及び市単独事業の活用により観光遊覧船の3隻目を導入し、H22.3に運行開始。<u>最大乗船人数が増加(24人→36人)</u>し、団体客を一度に受け入れることが可能となった。 ・専従職員4名(うち3名はふるさと雇用再生特別基金事業を活用)を配置。

<p>「No32 土佐の偉人ゆかりの地の魅力 向上と情報発信」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・7月から平日運行を団体客から個人客・小グループ客にも拡大。 ・12月から御置瀬漁港への寄港、宿泊施設とタイアップした企画遊覧「遊覧船 de 釣り三昧」を開始。 ・これまでの取り組みが評価され、第25回県地場産業大賞の産業振興計画賞を受賞 ・乗船客数<H22.4～H23.3月の累計> 5,897人（対前年同比56.5%増：釣客を含む） [H23] ・特別企画の実施 <ul style="list-style-type: none"> 4/1～4/15：東北関東大震災義援金特別企画 5/1～5/6：桂浜発着ミニクルージング ・乗船客数<H23.4～H23.6月の累計> 2,101人（対前年同比19.0%増：釣客を含む） ・セールスキャラバンへの参加 <p>【課題と今後の対応】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・乗船客数の増加のための企画商品づくりとPR <p>[H22]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県、市の観光補助金の活用により武市半平太の功績を紹介する瑞山記念館の展示物を全面リニューアル。 ・長宗我部関連のゆかりの地のマップを作成し、史跡等をルート化。 <p>[H23]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・瑞山記念館の周辺整備 ・土佐っ歩の「土佐勤王党コース」へ組み込み
---	--

②上記以外で特に動きのあった取組

地域アクションプランの項目名	取組状況（課題、結果、成果等）
<p>No8 稲ホールクroppサイレージを核にした 耕畜連携の推進と二期作文化の復活</p>	<p>[H21～22]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国庫補助金及び県産業振興推進総合支援事業費補助金の活用により飼料専用コンバイン、自走式ラッピングマシン等を整備 ・H21 の介良地区に加えて、H22 新たに布師田地区、五台山地区で生産開始。 ・飼料稲の栽培面積 H21:19ha、H22:33.48ha（収量 394.2t） ・水田跡での飼料作物（ソルゴー）の試験栽培 3.83ha。収量 50.6t（H22） <p>[H23]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・布師田地区耕作WCS部会設立 ・耕種農家の酪農現場の視察研修の実施 <p>【課題と今後の対応】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・酪農家と耕種農家の相互理解の促進 ・稲WCSの高品質化技術の習得と収穫期の調整 ⇒栽培技術及び計画的な作付け指導を実施
<p>No9 乳製品の開発による新しい酪農経営モデルの創出</p>	<p>[H21～22]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・産業振興アドバイザーを派遣し、商品開発を支援 ・県産業振興推進総合支援事業費補助金の活用により、牧場で生産した生乳を使用して菓子類を製造する機械を導入し、店舗をリニューアルオープン（H22.5）、シュークリーム、ロールケーキ、プリンを販売開始。販売実績は、売上目標の1/3程度 ・新規雇用2名（ふるさと雇用再生特別基金事業の活用） ・産業振興アドバイザーを派遣し、店舗の運営面での課題解決を支援。 ・酪農教育ファーム（7回）、オープンファーム（3回）を開催し、550人余りが参加。 <p>[H23]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・土佐グルメマーケットと契約締結 ・店舗外での販売、PR活動を開始（県庁生協等） <p>【課題と今後の対応】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新規顧客の開拓とリピーターの確保、顧客ニーズにあった商品開発の増加 ⇒販促活動の展開など、アドバイザーの助言を着実に実行していく。

[参考：H23 産業振興推進総合支援事業費補助金の導入状況]

①事業名：春野地区農産物付加価値向上のための加工施設整備事業

[No7 春野地区の農産物（トマト等）の付加価値向上]

総事業費：70,139千円 交付決定額：33,399千円

実施主体：有限会社スタジオ・オカムラ

事業内容：地域の農家と連携して、農産物（トマト、ショウガ、ハーブ等）に付加価値をつけた加工品の製造・販売のための加工場の整備 <H23.9 操業開始予定>

目標：農産加工品の販売額 H28 目標 94百万円

②事業名：高知里山の家普及促進事業 [*ステップアップ事業] 予定

総事業費：2,124 千円

事業実施主体：こうち木の家ネットワーク

事業内容：モデルハウスを活用したイベントの開催、森の工場や流通過程の見学会の実施、パンフレットの作成、ホームページでトレーサビリティにアプローチするシステムの構築

目標：H23 年度受注 40 棟

2 地域アクションプランへの追加・修正

- ・特になし

3 地域本部への相談・提案等

- ・平成 23 年度は、地域本部に 4 件（企業 3 件、個人 1 件）の相談が寄せられている。
- ・産業振興につながる案件については、フォローし、制度の活用や地域アクションプランへの位置づけなどを検討していく。